



那須町 景観計画

那須町の美しい景観を保全し  
良好な景観を形成するために

那須町 建設課

## アンケート調査

### ①アンケート調査の目的

このアンケート調査は、「那須町景観計画」を策定するにあたり、町民の那須町の景観に対する意識、要望や意見などを適切に把握し、景観計画の策定に反映させるため実施した。

### ②アンケート調査の方法

- 調査地域 那須町全域
- 調査対象 20歳以上の男女個人
- 標本数 1,000件
- 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布回収方式
- 調査期間 平成18年9月（1日発送～19日回収締め切り）
- 分析方法 単純集計及びクロス集計の双方から意識傾向を分析

### ③回収結果

- 回収数 547件
- 回収率 55%

### ④回答者の属性

#### ■性別

	人数(人)	割合(%)
男性	261	47.7
女性	280	51.2
無回答(不明)	6	1.1
合計	547	100.0

#### ■居住地

	人数(人)	割合(%)
高原	90	16.5
湯本	31	5.7
高久	85	15.5
黒田原	168	30.7
芦野・伊王野	120	21.9
無回答(不明)	53	9.7
合計	547	100.0

#### ■職業

	人数(人)	割合(%)
自営業(農林業)	68	12.4
自営業(商工・サービス業)	60	11.0
会社員・公務員・団体職員	168	30.7
パート・アルバイト・派遣社員など	65	11.9
家事従事(主婦など)	66	12.1
学生	8	1.5
無職	91	16.6
その他( )	17	3.1
無回答(不明)	4	0.7
合計	547	100.0

#### ■年齢

	人数(人)	割合(%)
20歳代	65	11.9
30歳代	83	15.2
40歳代	89	16.3
50歳代	131	23.9
60歳代	99	18.1
70歳代以上	80	14.6
無回答(不明)	0	0.0
合計	547	100.0

#### ■居住年数

	人数(人)	割合(%)
5年未満	61	11.2
5年～9年	43	7.9
10年～14年	31	5.7
15年～19年	24	4.4
20年～24年	61	11.2
25年～29年	44	8.0
30年以上	283	51.7
無回答(不明)	0	0.0
合計	547	100.0

## ⑤集計分析結果のまとめ

### 那須町の景観について

#### ■ 那須町の景観への「愛着」や「誇り」は…(問6)

○那須町の景観への「愛着」や「誇り」を持っている人が多い。

- ・「強く持っている」(約3割)、「ある程度持っている」(約5割)をあわせると3/4以上が「愛着」や「誇り」を持っている。

#### ■ 那須町の景観と言えば…(問7)

○那須町の景観と言えば絶対に「自然景観」である。

- ・「自然」(約9割)が「歴史・文化」(約2割)、「都市」(約1割)を圧倒している。
- ・なお、「芦野・伊王野地区」では、「歴史・文化景観」(約4割)が他の地区に比べ回答が多い。

#### ■ 「自然景観」の中で「好きな、大切にしたい景観」は…(問8)

○「山並み景観」と「自然林や里山などの景観」である。

- ・「山並み」(約7割)、「自然林や里山などの」(約5割)への回答が多く、「水田・牧草畑」、「河川・湖沼」への回答(約2割)は少ない。
- ・「那須連山」への書き込みが多く、那須町の景観を考える上で、「那須連山」は絶対的シンボルである。また、「那須街道」への書き込みも多い。

#### ■ 「歴史・文化景観」の中で「好きな、大切にしたい景観」は…(問9)

○「城址や史跡など」と「祭りや地域の風習など」は大切にしたいと思っているが、「特にない」への回答も多い。

- ・「城址・史跡」、「祭り・風習」への回答(約3割)が多いが、「特にない」への回答(約3割)も多い。
- ・特に「30歳代」、「湯本地区」、「高久地区」では、「特にない」への回答(35%超)が多い。
- ・書き込みでは、「芦野・伊王野地区」に関するものが多い。

## ■ 「都市景観」の中で「好きな、大切にしたい景観」は…(問10)

○「芦野・伊王野の街並み」、「湯本の街並み」は大切にしたいと思っているが、「黒田原の街並み」はあまり思っていない。

- ・「芦野・伊王野」、「湯本」への回答（約3割）が多いが、「黒田原」への回答（約1割）は、「特にない」への回答（約2割）より少ない。
- ・特に「芦野・伊王野地区」では、自分たちの街並みを6割以上が大切にしたいと思っている。

## ■ 「好ましくないこと」や「改善して欲しいこと」は…(問11)

○「ごみの不法投棄」、「商店街の空き店舗」や「屋外広告物」に対する意見が多い。

- ・「ごみの不法投棄」に関しては、各年代、各地区とも全体的に意見が多い。具体的場所では、「各所」に渡っている。
- ・「商店街の空き店舗」に関しては、「湯本地区」、「黒田原地区」、「芦野・伊王野地区」での意見が多く、また、年齢が高い方の意見が多い。具体的場所では、「黒田原商店街」が多い。
- ・「屋外広告物」に関しては、「高原地区」、「湯本地区」、「黒田原地区」での意見が多く、また、「60歳代」で特に意見が多い。具体的場所では、「那須街道」が多い。

## 今後の取り組みについて

### ■ ルール(規制)の必要性について…(問12)

○ルール(規制)の必要性を強く感じている。

- ・「必要」(約5割)、「ある程度必要」(約4割)をあわせると85%以上が「必要性」を感じている。

### ■ 具体的なルールについて…(問13)

○「敷地の緑化や樹木保全」、「看板などの大きさ」、「建物や看板などの色やデザイン」へのルールを求めている。

- ・「敷地の緑化や樹木保全」に関しては、各年代、各地区とも全体的に意見が多い。
- ・「看板などの大きさ」に関しては、「高原地区」、「高久地区」での意見が特に多い。
- ・「建物や看板などの色やデザイン」に関しては、各年代、各地区とも平均している。
- ・「建物の高さ」に関しては、意見が少ない。
- ・「その他」として、「ごみの不法投棄」に関する意見が多い。

### ■ 町が取り組んでいくことについて…(問14)

○「景観を損なう建物や広告物などを指導、規制」、「国や県と協力して景観づくりを進める」、「住民を支援する仕組み、制度をつくる」を求めている。

- ・「建物や広告物などを指導、規制」に関しては、「高原地区」、「湯本地区」、「高久地区」での意見が多く、また、「30歳代～60歳代」での意見が多い。

### ■ 住民が取り組んでいくことについて…(問15)

○「敷地内の手入れや管理をする」への回答が多く、身近な事から実践していく姿勢がうかがえ、「町や団体」への協力を惜しまないことがうかがえる。

- ・「取り組むべきことはない」は、わずか3%となっている。
- ・「その他」として、「ごみ」や「環境」に関する問題をあげている。